

事務事業評価シート（評価対象年度：令和2年度）

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名	観光振興事業					②事業番号	3425
③事業類型	7. 負担金・補助金事業			④開始年度	平成 24 年度	⑤終了予定年度	年度 ○ 設定なし
⑥根拠法令等	法令	条例	規則	○要綱	計画等	○その他	法令等の名称 泉南市観光振興ビジョン
⑦実施手法	直営	全部委託	一部委託	○補助・負担	○その他		
⑧関連予算科目コード	款	6	項	1	目	5	細目 2
⑨担当部名	⑩担当課名			会計 一般会計			
市民生活環境部	産業観光課						

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 市民	① 市民	人
②	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
泉南市観光協会、根来街道グリーンツーリズム振興協議会、一社)KIX泉州ツーリズムビューローに対する補助金及び負担金を通して観光振興をはかるもの。平成24年、泉南市観光の中核をなす組織として設立された泉南市観光協会の運営に係る補助金を支出することで支援をはかる。広域観光施策として、泉南市から岩出市へとつづく、根来街道においてグリーンツーリズムに係る検討、観光ビジョンの策定、PR、イベントの実施等をおこなう根来街道グリーンツーリズム振興協会へ参画するほか、平成30年度に設立された一社)KIX泉州ツーリズムビューローへも参画し、これまでの泉州観光プロモーション、華やいで大阪・南泉州観光キャンペーン推進協議会、泉州国際マラソンの主要事業として継承するものであり、南泉州における広域観光施策の要となるものである。	① 泉南市観光協会イベント数	回
	② KIX泉州ツーリズムビューローイベント数	回
	③ 根来街道グリーンツーリズム協議会イベント数	回
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
市内外からの誘客を目的とし、本市観光の要となる泉南市観光協会が発展を期するもの。観光案内所の設置により、泉南市の観光都市泉南市の知名度の向上を図る。根来街道グリーンツーリズム振興協議会では、府県、市町村を跨いだ根来街道という枠組みのなかで、本市観光機能・体制の充実を図る。一社)KIX泉州ツーリズムビューローではインバウンドの誘客を柱として、観光にかかるインフラの整備、泉州国際市民マラソンを主催することで、泉州地域をエリアとした広域的な観光振興を強力に進める。	① 泉南市における休日滞在人口	人
	② 計算式 土日祝日に2時間以上滞在した人口(平均)	
	③ 計算式	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
泉南市観光協会を通じて市内観光施策の充実を図る。根来街道グリーンツーリズム振興協議会へやKIX泉州ツーリズムビューローへ参画することで、府県、市町村をこえた広域観光を推進することができる。 【その他の体系上の位置付け】 (3-4-1-1):観光協会の充実支援 (3-4-1-2):観光案内所の設置・運営 (3-4-1-3):泉南市観光情報の収集、発信 (3-4-2-1):観光資源ルートの整備 (3-4-2-2):新たな観光資源の開拓・整備 (3-4-2-3):イベント等の開催 (3-4-2-4):フィルムコミッション活動の推進を行う。	政策(章)	3 産業の活力が増し、賑わいと交流が生まれるまち
	施策大(節)	4 豊かな地域資源を有効に活かし、さまざまな人々が行き交う観光・交流のまちをめざします
	施策中	1 観光機能・体制の充実
	施策小	4 広域観光の推進

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	指標値の推移における 特殊要因などの説明
対象指標①	市民	人	61,984	61,457	60,795	—	—	
対象指標②								
活動指標①	泉南市観光協会イベント数	回	11	4	1	—	—	地域経済分析システムによる(R2.6)
活動指標②	KIX泉州ツーリズムビューローイベント数	回	6	10	4	—	—	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントの開催を中止した。
活動指標③	根来街道グリーンツーリズム協議会イベント数	回	2	1	0	—	—	
成果指標①	泉南市における休日滞在人口	人	51,667	51,929	52,421	—	—	
成果指標②								
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.50	0.63	0.55	0.55		事業費などの推移における 特殊要因などの説明
	任期付職員	人	1.53	0.54	1.65	1.65		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	人件費(投入人員×単価)	千円	9,072	6,699	9,166	9,166		
	直接事業費	千円	15,316	14,226	9,543	12,801		
財源内訳	総事業費	千円	24,388	20,925	18,709	21,967		令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によるイベントの開催中止に伴い、直接事業費が減となっている。
	国庫支出金	千円	4,081	3,941	3,812	2,344		
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	10,206	0	0	0		
	一般財源	千円	10,101	16,984	14,897	19,623		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	観光振興への関心が高まる中、平成15年度に根来街道グリーンツーリズム振興協議会が、24年度には市観光協会が設立され、さらに30年度に泉州観光プロモーション、華やいで大阪・南泉州観光キャンペーン推進協議会、泉州国際マラソンを継承する機構として、KIX泉州ツーリズムビューローが設立された。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	関西国際空港の開港の地元市である強みを活かし、内外からの観光客呼び込む取組を進めてきた。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントの開催ができない状態となった。今後は、アフターコロナを見据えた取組を進める必要がある。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	観光協会ではより効率的な事業実施のため、組織体制の見直しを進めている。また広域的な取組の中であっても企画段階から積極的に事業参画をしている。

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	国を挙げての「観光立国」の推進に合致し、さらなる振興が望まれる。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

②期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの開催が難しい中、関係機関との連携・協力を継続的に行った。
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	新たな観光資源の発掘、開発等により、さらなる成果向上を図る必要がある。
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	類似の事業はないが、他部署との連携により、観光の広がりが期待できる。

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

B

⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費＋人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	今後の課題として、各組織、機構が継続可能な自主運営をはかる方策を検討する必要がある。
--	----------------	--

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要 (事業の進め方に改善が必要) C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要 (事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	将来的には独立採算できる体制が必要である。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ア	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 	ウ. 終了 ↓ (年まで)	エ. 休止 ↓ (年から)	オ. 廃止 ↓ (年から)
	<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)			
①改革、改善の具体案、実施年度など		泉南市観光協会の収益事業について検討する。		
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策		観光振興に関する課題として、旧来の観光資源の発掘と活用、新たな観光資源の開発、新しいアイデアによるイベントの実施、人材育成、産業育成等が挙げられるが、いずれにしても担い手である市民の協力なしには成り立たないものである。今後も行政と地元地域とが一体となった振興策を講じる必要がある。		